

## 国際大会団長報告

大会名	世界クラシックパワーリフティング選手権大会（パワー クラシック 一般）
開催国名	南アフリカ共和国
開催都市名	サンシティ
大会期間	2022年6月6日～6月11日
団長名(報告者)	渋谷 優輝
帯同審判名	無し
大会参加国(地域)数	36カ国
大会参加選手数	238名

※必要に応じて行を挿入してください

	参加選手名	階級	種別	性別	カテゴリ	SQ記録	SQ順位	BP記録	BP順位	DL記録	DL順位	To記録	To順位
1	蛭原 孝晴	59.0	CL	男子	OP	200.0	3	135.0	1	220.0	2	555.0	2
2	牛山 恭太	66.0	CL	男子	OP	232.5	8	170.0	2	282.5	2	685.0	3
3	渋谷 優輝	66.0	CL	男子	OP	247.5	4	150.0	7	235.0	12	632.5	8
4	川島 達也	74.0	CL	男子	OP	222.5	14	195.0	3	235.0	14	652.5	12
5	照沼 直樹	83.0	CL	男子	OP	250.0	15	170.0	12	267.5	19	687.5	16
6	鶴谷 史門	93.0	CL	男子	OP	255.0	23	162.5	22	295.0	18	712.5	22
7	栗原 弘教	105.0	CL	男子	OP	290.0	10	187.5	15	275.0	17	752.5	16
8	大川 祐依	57.0	CL	女子	OP	120.0	15	72.5	15	142.5	12	335.0	15
9	本多 まゆみ	57.0	CL	女子	OP	100.0	16	60.0	16	140.0	13	300.0	16

※必要に応じて行を挿入してください。挿入する場合はNo24以前に挿入すると数式の再設定不要です。

### メダル獲得数集計シート

（自動計算されます）

（数字は半角英数字を使用し、数式破損に注意）

SQ金メダル	0	BP金メダル	1	DL金メダル	0	To金メダル	0
SQ銀メダル	0	BP銀メダル	1	DL銀メダル	2	To銀メダル	1
SQ銅メダル	1	BP銅メダル	1	DL銅メダル	0	To銅メダル	1
SQメダル計	1	BPメダル計	3	DLメダル計	2	Toメダル計	2
大会獲得メダル合計							
8							

【大会の様子】※写真等を貼り付け、大会の様子等を報告してください。（会場、使用器具、天候、運営など今後の派遣に有益な情報となりうるもの）

会場：SUN City内のSUN PARK（大会要項の場所から変更になっていました）、使用器具：新型エレイコ（最新版）

気候：日中はおだやかで半袖でも過ごしやすいが、朝晩は冷え込みがきつく、ダウンを着用する選手もいました。

治安：ヨハネスブルク空港では、荷物をもってあげる、行先はどこですか？とポーターのようなことをしてチップを生業としている方もいましたが、サンシティ内は外部の町とは区切られており、エリア内は旅行者とスタッフなど許可された人しか入ることができない空間になっていたため治安の良さを感じました。

大会の様子：会場が当初大会要項で発表されていたところとは違い、前日にみんなで下見にいったのですが、今後も事前の確認、下見は必須だと思います。ホテルからは徒歩15分程。無料のシャトルバスも走っていました。ホテルは、空港からバスで2時間半、到着したところ、予約したホテルと違いました。チェックインも普通にできたので翌日確認したところ、当初予約していたホテルは営業しておらず、今回泊まったホテルに変更になっていたようです。バスタブがありました。大会期間中はずっと蛇口から錆がでていました。南アフリカは水を飲むことができるという情報でしたが、硬水であること、錆がでてくることなどから選手団ではミネラルウォーターを購入して飲んでいました。本番は新型エレイコでしたが、アップ場は旧型エレイコと、ブルが一台でした。ラック高を測る用に新型エレイコも1台ありましたがアップでは使用不可でした。スーパー（生鮮食品や牛乳など）の購入は敷地内ではできず、リゾート地らしい、ホテルに併設したコンビニのようなところでお菓子やジュースや飲み物は購入できます。レストランやカフェ、フードコートなどはあり食事には困りません。（食べるものは選びますが、減量中の方は難しいかも）マスクをしていないとホテルに入れず、ホテルの入り口にもアルコールがありました。

